平成 31 年 3 月　発行人：岩手県社会福祉協議会　ボランティア・市民活動センター

いわて車いすフレンズ通信

この活動は、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

いわて車いすフレンズ活動をご存じですか？

いわて車いすフレンズ活動は、県内の工業高校生が中心となって、利用されなくなった県内の車いすを修理・整備し、アジア諸国へプレゼントするボランティア活動で、平成15年度から取り組んでいます。

アジアの国々では、車いすを購入することができず、日常生活に困っている人たちがたくさんいます。その方たちに少しでも役立ちたいという思いを込めて修理活動に取り組んでいます。

おおむね次のような流れで実施しています

1　使えなくなった車いす

使われなくなった車いすや破損している車いすが車いすフレンズ活動に参加している工業高校、大学に提供されます。（提供元：社会福祉協議会、福祉施設等）

※車いすの受け入れは、車いすの破損状態・集荷ニーズを確認し行います。

2　修理・整備作業

提供された車いすは高校生や大学生が技術を生かし修理・整備します。（修理作業例：さび取り、分解、汚れ落とし、部品等の交換、ノーパンクタイヤへの交換、補強等）

3　梱包作業

修理・整備の完了した車いすは輸送途中で破損したり、傷がつかないように丁寧に梱包材で梱包します。

4　寄贈

整備・修理の完了した車いすを（公財）日本社会福祉弘済会を通して、車いすを必要としている国内外の人々のもとに寄贈します。

活動参加校・活動支援者のご紹介

【活動参加校】★印は平成 30 年度の活動実施校

NO.	活動参加校
1	★岩手県立盛岡工業高等学校
2	★岩手県立宮古工業高等学校
3	★岩手県立黒沢尻工業高等学校
4	★岩手県立一関工業高等学校
5	★岩手県立千厩高等学校
6	★岩手県立水沢工業高等学校
7	岩手県立久慈工業高等学校
8	岩手県立釜石商工高等学校
9	岩手県立大船渡東高等学校
10	岩手県立福岡工業高等学校
11	岩手大学工学部社会環境工学科（現在は、岩手大学理工学部システム創成工学科 社会基盤・環境コースに改組）

各学校の取組に対する支援を地元の社会福祉協議会が行っています。

【活動支援者】

○　**（公財）日本社会福祉弘済会さま**

全国の工業高校生たちによる車いす修理活動「空飛ぶ車いす」の支援団体。いわて車いすフレンズも空飛ぶ車いすの参加団体の一つです。

○　**神奈川工科大学 KWR さま**

○　**（有）東日本福祉機器商会盛岡営業所さま**

毎年 6 月に開催している車いす整備技術講習会に修理技術の講師として協力いただいています。

これまで、空飛ぶ車いすを応援する会さま、（公財）岩手県国際交流協会さま、（株）日通航空盛岡航空支店さま、岩手県青年海外協力隊を育てる会さま、（株）メガネの松田さま、盛岡ユネスコ協会さま、（社福）韓国福祉財団さま、（独）国際協力機構（JICA）さまなど、多くの企業団体のみなさまに支えられてきました。ありがとうございます！

車いす整備技術講習会を開催しました

車いすフレンズ活動の一環で、車いす修理技術などを学ぶ車いす整備技術講習会が、平成 30 年 6 月 28 日、盛岡市のふれあいランド岩手で開かれました。県内の工業高校など 6 校の 33 名が参加し、ノーパンクタイヤの装着や車体のさびとりなどを行い、県内の福祉施設などから寄せられた車いす 8 台を再生させました。

生徒たちが整備した車いすは、日本社会福祉弘済会が取りまとめ、韓国の釜山などアジア諸国に贈られます。

学校ごとに１年間の活動を頑張りました！

たいへんよくできました

①活動日　②参加生徒
③今年度修理台数（H31.3.15 現在）
④わが校の活動 PR

今年度は、講習会の分も合わせて 58 台の車いすの整備が完了しました。ありがとうございました。
おかげさまで、平成 15 年度からの整備実績は 901 台となりました。1,000 台まであと一歩ですね。

★　盛岡工業高校　★

①　毎週木曜日 12 時 45 分～15 時 35 分の授業時間
②　3 年生男子 5 名
③　今年度の整備完了車いす：12 台
④　6 月：車いす整備技術講習会参加
　10 月：紫波町立紫波第一中学校にて PR 活動
　11 月：南昌病院にてボランティア活動（2 回）
　1 月：課題研究発表会にて活動報告

活動を通して多くの方々と接し、ボランティア活動に対する意識が高まり、車いすを利用する方の気持ちになって修理・整備活動を行うことができました。

★　宮古工業高校　★

①　毎週金曜日 12 時 40 分～15 時 30 分の授業時間
②　3 年生男子 4 名
③　今年度の整備車いす：16 台/整備完了車いす：6 台
④　・いわて車いすフレンズ車いす修理活動
・地域の福祉施設への出張整備（2 回、宮古市社協の協力）
・科内課題研究発表会参加
・車いす整備技術講習会や宮古市社協主催の福祉まつりへ参加を予定したが、学校行事のため参加できなかった。

フレンズの作業を通して、生徒は「人の役に立ちたい」、「もし機会があったら積極的にボランティア活動に参加したい」と話していました。

★　黒沢尻工業高校　★

①　毎週月・木曜日 16 時～17 時の部活動時間

②　1～3 年生 10 名（男子 6 名、女子 4 名）

③　今年度の整備完了車いす：18 台

④　月 1 回老人福祉施設を訪問し、車いすのメンテナンスや施設の清掃を行っています。施設訪問には、ロータリークラブにも協力してもらっていて、毎年 9 月には、ロータリークラブと合同で和賀川グリーンパークの清掃活動を行っています。

　目立つ活動は行っていませんが、自分たちでやれることを考えてボランティア活動を行っており、近年は女子の部員が増えつつあります。

★　水沢工業高校　★

①　毎週金曜日 12 時 35 分～15 時 25 分の授業時間

②　3 年生男子 6 名

③　今年度の整備完了車いす：7 台

④

9 月：奥州市水沢ボランティアフェスティバル（市総合福祉センター）で、持ち込まれた車いす（5 台）を修理したほか、会場の準備や片付けにも参加

10 月：高齢者複合施設「もたいの里」から修理依頼された車いす（2 台）を整備し届け、施設の皆さんとの交流会も実施

11 月：奥州市社会福祉協議会江刺支所から修理を依頼された車いす（4 台）を整備しお届け

1 月：科内課題研究発表会で活動経過を報告

※6 月の講習会で修理したものを含め、計 20 台の車いすを再生し、世の中に送り出せました。

★　一関工業高校　★

①　毎週木曜日 13 時 30 分～15 時 20 分の授業時間

②　3 年生 6 名（男子 5 名、女子 1 名）

③　今年度の整備台数：2 台

④　課題研究の一環で取り組みました。

★　千厩高校　★

①　毎週木曜日 10 時～12 時 50 分の授業時間

②　3 年生男子 6 名（産業技術科）

③　今年度の整備台数：10 台/整備完了車いす：7 台

④　今年度も 1 班 3 名体制で実施しました。それにより、互いに競い合い、また、情報交換することで、技術の向上に努めることができました。特にノーパンクタイヤへの交換作業は、今まで 3 人で行っていたものが、2 人でも十分できるようになりました。

　文化祭で修理作業の実演を行いました。人に見られながら作業することで、普段以上に丁寧に作業したり、また、人から聞かれることで、作業内容の深化を図ることができたように感じます。

　課題研究発表で、自分たちの活動状況を堂々と話し、後輩にも継続して取り組むよう呼びかけを行いました。これにより、下級生も興味を持ち、次年度以降も同活動に参加することが決まりました。また、修理作業に取り組みやすくするための準備も始めました。

今回の整備完了車いすは、2 月に韓国の釜山へ届けられました。4～5 月には、タイのバンコクへ届けられます。

この通信は、「いわて車いすフレンズ」専用ホームページ（http://www.iwate-shakyo.or.jp/friends/index.html）で公開しており、ご自由にダウンロード可能です。

整備車いすを届けられた海外からのレポートや、使用済切手と書き損じはがきの寄付者名も公開中です。

韓国の釜山から喜びの声！みんなで外出できてうれしい♪

訪韓目的の一つは車いすを利用者に直接届け、利用環境を確かめ意見を聞くことです。そして日本で修理してくれている高校生たちと体験を共有することです。今回は4か所を訪問しました。

◆蓮花園（認知症グループホーム）3台
◆天馬リハビリセンター
（知的障碍者通園施設）5台
◆デソンハンウルタリ
（重度障害者生活施設）10 台
◆影島区障害者福祉館
（障害者総合支援センター）7台
※　2/16～2/18 に訪問

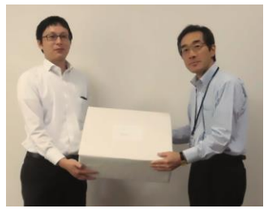
使用済切手と書き損じはがきの収集ボランティア

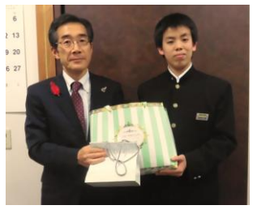
整備車いすは、海外へ運ぶ前にいったん倉庫（茨城県）や、空港に運ばれます。そのため、高校から倉庫などまでの「国内輸送費」が必要です。使用済切手や書き損じはがきを換金し、国内輸送費用の一部に充てています。

今年度は、3 月末日時点で累計 196 団体、40 個人にご協力いただきました。ありがとうございます。

寄贈者名は、「ずっぱりボランティアいわて」のホームページに掲載しています。

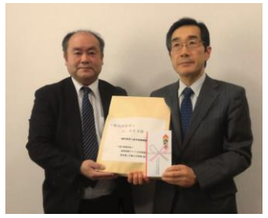
▼岩手銀行労働組合さま
（H30.7.26）
使用済切手 6,140g





▲盛岡市立巻堀中学校
第 72 期生徒会 104 名のみなさん
（H30.10.24）
使用済切手 3.8 kg
書き損じはがき 103 枚

▼（一社）岩手県損害保険代理業協会さま（H31.3.18）
使用済手枚数 5,669 枚



現在、プリペイドカード収集は行っておりません。

コラム

岩手県からの使用済切手寄付は、全国の約90%を占める！（日本社会福祉弘済会調べ）

☆車いす 1 台の国内輸送費→高校から倉庫まで 1,500 円/高校から空港まで 4,500 円

☆切手→1kg当たり約 300 円に換金　☆はがき→1 枚当たり 5 円の手数料を払い、切手に交換

車いす1台は、使用済切手約 5 kgで倉庫まで、書き損じはがき約 80 枚で空港まで届きます！！

みなさんに知ってほしい！韓国の釜山に運ばれた 6 割の車いすに不具合（海外レポートより）

1999 年 4 月に空飛ぶ車いす第 1 号がソウルに着陸して以来、韓国には 1264 台が空を飛んでいます。空飛ぶ車いすは世界 27 か国に約 8000 台が届いていますが、韓国は、タイ（2783 台）、スリランカ（2722 台）に次いで 3 番目に多い国です。（中略）コンテナ到着に合わせて新居浜工業高校、新潟医療福祉大学 FWS、神奈川工科大学 KWR の 15 名は、2 月 15 日～18 日に釜山を訪問。参加費は一人 55,000 円。

今年も活動プログラムは 20 年間一緒に活動しているチョウ・ユンヨンさん（韓国こども財団、全社協研修生）と釜山障害者総合福祉館が準備してくれました。

初日の夜に寄贈前の最終点検をしました。不具合箇所があれば、大車輪は緑色、ブレーキは黄色、キャスターは赤色のタグを付けました。結果修理不要は 42 台。再修理は 58 台。不具合が多いのはキャスター、ブレーキ、大車輪の順で、具体的にはキャスターの回りが悪く左右の回転が違う。ブレーキが全く効かない、タイヤの向きが逆などでした。どれも初歩的な整備不良です。（中略）**これまでの経験で 1 、2 割の整備不良は想定内でしたが、6 割には驚きました。**これでは寄贈できないため 2 日目に緊急修理を行いました。福祉館講堂で行われた修理には、チョウさん家族 3 人と 15 年間参加しているボランティア 5 人も手伝ってくれました。彼女らは日本語も話し修理も手慣れたものでとても助かりました。日韓メンバーは 3 班に分かれ 2 日間で 41 台を再修理できましたが、廃棄が 4 台、時間切れ未修理が 13 台となってしまいました。

今後も、多くの方に喜んでもらえるよう、最後まで気を引き締めて整備に取り組んでいきましょう。